

# 秋保大滝植物園だより No.12 きのご号

園内に咲く四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を、季節をおってお届けします。  
今回は秋です。尚、バックナンバーは(公財)仙台市公園緑地協会ホームページ「杜のひろば」よりダウンロードできます。



タマゴタケ (卵茸) 発生時期：晩夏～初秋。園内では自然林内に見られる。卵形のツボが破れて中から赤い傘が現れる。人気のあるキノコ



ツチグリ (土粟) 発生時期：夏～秋。土肌が見えるような場所に生える。成熟すると外皮が星形に開く。



ウスタケ (白茸) 毒 発生時期：夏～秋。傘は根元まで漏斗状にくぼみ、表面にはササクレがある。



マイタケ (舞茸) 発生時期：秋。ややまれに発生する。これはミズナラに生えていたもの。味の王様といわれる。



カワリハツ (変わり初) 発生時期：夏～秋。傘の色は、暗紫から淡紫、オリーブ色など変化に富む。



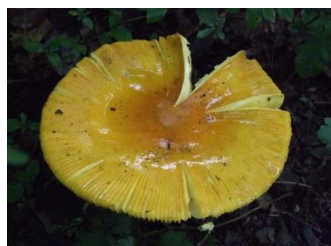
コムラサキシメジ (小紫占地) 発生時期：梅雨時期～夏。園内では刈り草置き場に発生。綺麗な淡紫色をしている。



コガネタケ (黄金茸) 発生時期：秋。キノコタケの別名あり。黄色い粉をまぶしたような大型のキノコ。



ヒイロタケ (緋色茸) 発生時期：夏～秋。枯れた幹や倒木に発生する。マイタケと同じ科に属するが食不可。



クサハツ [臭初] 毒 発生時期：夏～秋。悪臭があり、傷つけると一段と臭う。傘は黄土色。縁に放射状の条線がある。



モリノカレバタケ (森の枯葉茸) 発生時期：初夏～秋。落ち葉のリサイクル重要な役割を果たしている。束生・群生・輪生するが、形や大きさに変異が多い。



ムラサキホウキタケ (紫帚茸) 発生時期：初夏～初秋。とても小さいが苔の緑に紫色が映え、サンゴのようで美しい。



ヒメシャガ [姫射干] 花：5月 やや乾いた林下を好む



ホコリタケ (キツネノチャブクロ) [埃茸] 発生時期：梅雨時～秋。成熟すると粉末状の胞子を出す。



ナラタケモドキ (楯茸擬) 発生時期：夏～初秋。別名オリミキ。ナラタケに似るが茎につばがない。園内ではいたる所に発生。



アラゲキクラゲ (荒毛木耳) 発生時期：春～秋。白い微毛が沢山生えている。ゼラチン質だが温度が低くなるとすぐに乾いて縮む。



シロバナセイヨウウツボグサ 帰化 花：5月～6月 白い花を咲かせる



オニイグチ (鬼猪口) 発生時期：春～秋。傘の表面が黒いササクレで覆われる。地上に生える。



ナラタケ (楯茸) 発生時期：秋～晩秋。ヨシタケと呼ばれる。切り株や立木の根元に生える。柄には幅の広いつばがある。



カエントケ (火炎茸) 毒 発生時期：晩夏～秋。ナラ枯れした株元付近に生え近年園内でも発生あり。触れただけでも害性があり危険。



クリタケ (栗茸) 発生時期：中秋～晩秋。ヤマドリモダシと呼ばれ親しまれている。広葉樹の切り株や枯幹に生える。